

演習Ⅱ「演習の進め方」

本演習プログラムは、研修企画に携る本協会の研修認定精神保健福祉士が、会の進行役を担います。本研修の最後のプログラムですので、限られた時間を有効に活用し、受講者全員にとって役立つものとなるよう、スムーズに進行するために基本的な流れを下記に示します。

本日の全講義内容を振り返り、明日からの実践に繋がるよう充実した演習を行なってください。

進め方

【導入】・・・15分程度

1. 自己紹介をし、演習の雰囲気作りをする。
 - ① 氏名と所属（現在の立場など）
 - ② 研修受講動機
 - ③ 精神保健福祉士として、最近体験した「良かったこと」などを簡潔に話しましょう。
2. 話し合いのテーマを決める。

テーマは下記の中からグループ内で選んでください。
なお、話し合いに際しては、講義内容を踏まえてください。
「精神保健福祉士に必要な“ソーシャルな視点”とは？」
「精神保健福祉士の専門性とは？」

【テーマに沿った話し合い】・・・60分程度

3. 取り上げることになったテーマに基づき、参加者全員で意見を言い合う。
 - ① テーマから考える各自の意見を述べ合う。
 - ② 相互に質疑を出し合い、全体状況や話し合うポイントに関する意見交換をする。
 - ③ 今後の実践に向けて、自身が持ち帰れることや課題として再認識できたことを言い合う。

※テーマに基づく話し合いを活発に行いましょう。

（率直に考えを話し合える雰囲気を作る、他者の意見に耳を傾ける姿勢をもつ、

人の意見を取り入れて自身の意見を再考する、これまでの講義・演習を踏まえて考える）

※全員が話し合いに参加できているか気にかかけ、協力し合いながら進めましょう。

※限られた時間です。簡潔に自身の言いたいことを表現するトレーニングと認識してください。

【まとめ】・・・10分程度

4. 参加者全員で感想を言い合う。
 - ① 本研修全体を通じて学べたこと
 - ② 明日からの実践に向けた抱負など、1日を振り返って感想を述べましょう。グループの参加者相互に労うことも忘れずに。